

一般質問の

行方

追

跡

その後どうなった議会の声

まちにおける認知症対策について
(平成28年12月議会)

質問事項

高齢者の徘徊対策にGPSの活用を。

健康福祉課長答弁

来年度事業に向け、
靴底タイプを検討したい。

処理事項

平成29年4月から導入を始めた。
現在は2人が利用している。



命を守るGPS

平成29年 第2回臨時会

防災無線デジタル化に6588万円

8月2日に平成29年第2回臨時議会を行い、
報告1件・議案1件・承認1件が提案され、原
案どおり可決しました。

防災無線デジタル化設置工事請負契約の締結

○契約の目的

防災行政無線デジタル化設置工事

○契約の方法

指名競争入札による契約

○契約金額

6588万円

○契約の相手方

藤田エンジニアリング株式会社

代表取締役 藤田 実

工事概要

今回親局設備を役場の放送室に、子局1局を
大久保集落センターに設置するもの。全体計画
としては親局設備、子局設備21局、移動系無線
設備30台、戸別受信機5125台で完成は平成
33年度予定。今回の
工事で10・7%
実施。

問 この設備は特
定のメーカー
の設計仕様ではな
いのか。
答 メーカー指定
はしていない。



「こちらは防災よしおかです」
(役場防災無線室)

一般質問の行方

公用車の活用に関して
(平成29年6月議会)

質問事項

「走る防犯カメラ」として、
公用車にドライブレコーダーの設置を。

町長答弁

町民の安全・安心のため、
設置を考えていく。

処理事項

一部公用車に設置を始めている。



設置拡大が期待される

高齢者の運転免許証の返納について
(平成29年3月議会)

質問事項

自主返納者にタクシー利用券の配布を。

町長答弁

現在バスカードの交付を行っているが、
タクシー券の導入も検討したい。

処理事項

平成29年10月から
タクシー利用券の配布を実施。

表

平成29年度
吉岡町高齢者運転免許証自主返納者支援事業 タクシー利用券
500円券
利用年月日 平成 年 月 日 吉岡町長

裏

<注意事項>
○運賃等の一部として利用できます。おつりは受けられません。
○本人のみ利用できます。
○利用の際に、利用年月日を記入願います。
○有効期限は、平成30年3月31日までです。
※その他不明な点は、下記までお問い合わせください。
吉岡町役場町民生課生活環境室
電話番号 0279-26-2243

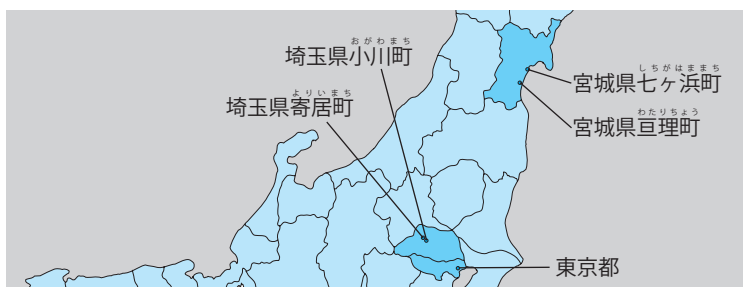
自主返納者にタクシー券

賛否一覧

議員名 議案名および内容			結果			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			賛成	反対	議決結果	富岡大志	大林裕子	金谷康弘	五十嵐善一	柴崎徳一郎	竹内憲明	高山武尚	村越哲夫	坂田一広	飯島衛	岩崎信幸	平形薫	山畑祐男	小池春雄	岸祐次	馬場周二
承認	第3号	固定資産評価審査委員会補欠委員の選任…欠員により補欠委員を選任したため	13	0	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	—
議案	第30号	平成29年度防災行政無線放送施設デジタル化設置工事請負契約の締結…18ページ参照	13	0	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	—

※賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退 除斥…除 ※議長は採択に加わらないため「—」で表示

ポ ー ト



議会広報常任委員会

東京都

埼玉県

情報が伝わる広報に

町村議会

広報クリニック研修

7月4日、東京、全国町村議員会館で、町村議会広報クリニック研修が、講師長岡光弘氏によりありました。

1部は議会だよりのクリニックの視点として、「住民に情報が伝わる紙面か」「住民視点での編集か」「住民視点での紙面表現か」の講演がありました。住民に読みやすく・分かりやすくするには、「情報の集約化・情報の流れが伝わる編集・住民の目をひく見出し」などを心がけることが大切で、参考例文を用いて分かりやすく説明をいただきました。

2部では、よしおか

議会だよりの115号のクリニックを受け、アドバイスをいただきました。例えば「一般質問で見出しに対して問・答は隣接に」「議会を傍聴して・私もひとことに対応を加える」など。116号より早速反映して見ました。そのほか8町村の議会だよりのクリニックを研修し、おのおの工夫の仕方を学ぶことができました。

今後の広報編集に参考および活用していきたいと思います。

住民と議会を結ぶ議会広報について学ぶ

議会広報常任委員会

視察研修

8月3日に埼玉県寄居町議会と小川町議会を視察しました。昨年度の町村議会広報全国コンクールで寄居町議会は優良賞(6位)、小川町議会は編集・デザイン部門で奨励賞を取っています。

寄居町議会「お元気ですか寄居町議会です」は、テーマを決め多くの住民に登場いただきたい・見出しの活用・議員の写真で吹き出し形式など、さすがに優良賞を取るだけに、手に取り読みたくなるような議会だよりで、吹き出し・写真の多用・見出しの活用などの手

法は取り入れたい点であります。

小川町議会「おがわ議会だよりの」は現在84号の発行ですが、79号で大幅なリニューアルを試みたそうです。表紙写真・書体・内容など「挑戦」でなく「冒険」をした結果、「硬い・むずかしい」のイメージを払拭し、住民に受け入れられたそうです。多くの抵抗があり大変苦労した経過があったようです。ちなみに78号まではよしおか議会だよりと似たパターンです。吉岡町議会はここにきて、大胆な発想を強いられた時期かなと

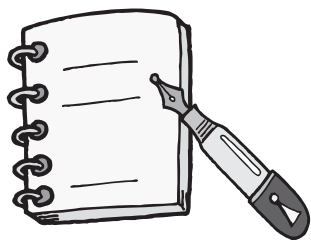
痛感しました。

これらを参考に吉岡町議会広報に、取り入れる点は取り入れ、今後の広報づくりに生かしたいと思っています。

(委員長 金谷 康弘)



熱心に研修に打ち込む広報委員(寄居町議会)



視察研修

総務常任委員会

宮城県

地域防災の取り組みを学ぶ

8月22日23日、宮城県七ヶ浜町と亘理町で視察研修を行いました。

震災時、食料や飲料水の確保と救援物資の調達や配布は、備蓄で賄い、徐々に集まった物資を区長や婦人クラブ、町職員などにより配布した。災害資材と毛布・水などの防災用品は、震災前よりも充実したそうです。現在、住民は3日分の食料・水の備蓄を行っているとのこと。

防災訓練の実施状況は、両町とも町全体と自治会単位での炊き出しや支援物資の配布、応急救護などの総合防災訓練を

定期的に実施しています。

備蓄の充実で安心した生活が過ごせ、防災訓練で意識の向上がはかれるのを実感しました。

(委員長 岩崎 信幸)



東日本大震災時の様子を聞く（亘理町プレハブ庁舎）

全員研修

高崎市

浜川市

高機能消防指令システムを学ぶ

7月19日、議員全員で、たかさき消防共同指令センターと赤城歴史資料館を視察しました。

たかさき消防共同指令センターは、渋川広域消防本部を含む県内6消防本部が、消防指令業務の共同運用を行っています。共同運用により、高機能消防指令システムが整備され、現場到着時間や病院到着時間の短縮、大規模災害時の広域での組織的活動、迅速かつ円滑な対応ができると感じました。また、防災無線放送時の目標物の設定について、住民に分かりやすいものにしていただきたいとの

意見が出されました。赤城歴史資料館は、年間入場者が1300人ほどで、「資料館ボランティアの会」があり、資料館と協働で事業の運営を行っています。小学生の教育の環境としても利用されて

いて、地元の歴史を知り、良い機会になると思われま。

歴史資料の保存場所の確保、空調やバリアフリーの施設整備・管理の必要を感じました。

(議長 馬場 周二)



資料館の運用方法の研修（赤城歴史資料館）